



馬場かよう

子育てしやすく
ずっと住み続けたい 座間市へ

私は、座間市で暮らすごく普通の1児の母です。結婚と出産を機に、座間市へ引っ越してきました。あわただしい育児の中で、**座間市に住み続けたいという気持ち**とともに、**もっと子育てしやすく、若者が安心して働ける環境にしたい**というおもいが強まり、**座間市政に挑戦**することを決めました。どうか皆さんの力を貸してください！

完全無所属



28歳（1児の母）



略歴

- ・横浜翠嵐高等学校 卒業
- ・東京農工大学 農学部 卒業
- ・東京農工大学の学内外向けWebサイト立ち上げ
- ・全国森林組合連合会 入社
- ・結婚と出産を機に、座間市へ転入
- ・現在は専業主婦、1歳の息子を自宅保育

SNS等で情報更新中！

Instagram

ホームページ



20年前から変わっていない？

小中高の学校教職員の労働環境を改善

教員の1日あたり平均労働時間

平成18年度

小 11時間10分
中 11時間22分
高 10時間26分

平成28年度

小 11時間44分
中 11時間52分
高 文科省調査せず

令和4年度

小 11時間23分
中 11時間33分
高 10時間36分

※教諭のみ/平日/学内勤務と持ち帰り業務を足し合わせた時間。加えて、土日の業務時間が1~4時間程度発生。参照：文部科学省実施の勤務実態調査

社会を支える現役世代の1人として、子を持つ母として、第一に長年放置され続けている小中高の教職員の長時間労働を改善し、人員増加、正規雇用化を進めます。そして、学校が子どもにとっても、教職員にとっても**のびのびと学び教えることができる居心地の良い空間**となることを目指します。また、学びのための塾通いを前提としない**公教育の拡充**を進めます。

他にもこんなことで、座間市の魅力をマシマシ！に

- ◆ 保育士と学童の先生の労働環境と待遇の改善
- ◆ 0~3歳の一時保育、天候に左右されない室内遊び場の拡充
- ◆ 小中高生が集中して学べる自習スペースの拡充
- ◆ 不登校児童含む子どものための、家と学校以外の第3の居場所づくり
- ◆ ひとり親のための養育費立替制度づくり
- ◆ 市役所職員の正規雇用化、介護士の労働環境と待遇の改善
- ◆ 有機フッ素化合物（PFAS）の継続的なモニタリング、研究のための官学連携体制づくり
- ◆ 防災設備のアップデートと見える化
- ◆ 炎天下でも涼しく、命を守る木陰や日陰づくり

皆さまからの声もお待ちしています。お気軽にお声かけください！